

THE新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦

1月26日[金]～3月18日[月]

明治末期、西洋の印刷技術が広まるなか、江戸時代からつくづく伝統的な浮世絵木版技術をさらに昇華させ「新版画」のジャンルを築き上げた渡邊庄三郎。本展では、彼が運営する渡邊版画店から出版された、川瀬巴水、伊東深水、フリッツ・カベラリなどによる「新版画」の数々を通し、渡邊庄三郎の挑戦の軌跡をたどります。



川瀬巴水《東京二十景 芝増上寺》大正14(1925)年 渡邊木版美術館蔵

畠山記念館名品展 -松平不味ゆかりの逸品と琳派-

4月19日[金]～6月10日[月]

株式会社荏原製作所の創業者であり数寄者でもあった畠山一清(号・即翁)は、長年にわたり美術品を蒐集し畠山記念館を設立しました。本展では施設改築工事のため休館している畠山記念館の所蔵品の中から、茶の湯と琳派の名品、加えて松平不味ゆかりの品を紹介します。中四国の地で初めて開催される畠山記念館の展覧会です。



重要文化財《唐物肩衝茶入 銘油屋》中国・南宋～元時代(13～14世紀) 畠山記念館蔵

開館25周年記念 『アンアン』『ポパイ』のデザイン 新谷雅弘の仕事

6月28日[金]～9月2日[月]

デザイナー新谷雅弘(島根県隠岐郡在住、1943-)は、堀内誠一(1932-1987)のアートディレクションによる革新的雑誌『アンアン』の創刊(1970)に参加、以降、『ポパイ』・『ブルータス』・『オリーブ』(すべてマガジンハウス)においてアートディレクターをつとめました。エディトリアルデザインの魅力をご紹介します。展覧会です。



新谷雅弘《「ポパイ」表紙レイアウト原稿》2023年(再制作)と「ポパイ」1978年6月10日号表紙 ©マガジンハウス

開館25周年記念 落合朗風展 明朗美術連盟と目指した世界

9月20日[金]～11月4日[月・振休]

落合朗風(1896～1937)は、大正から昭和初期にかけて活躍した日本画家。昭和9(1934)年には明朗美術連盟を創設し、「日本画」の既存概念に一石を投じる先駆的作品を次々に発表していきま。朗風とその仲間たちがどのような未来を夢みて活動していたのか、ゆかりの深い島根の地において考えます。



落合朗風《華嚴仏》昭和6(1931)年 鶴布山珍藏寺蔵

第57回 島根県総合美術展 (県展)

11月16日[土]～11月24日[日]

県民文化祭の美術展における入賞・入選作品等を展示します。



第71回 日本伝統工芸展

12月11日[水]～12月25日[水] 会期中無休

厳正な審査をへて選ばれた陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門の作品を紹介。重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品をはじめ、受賞作、地元山陰(島根県・鳥取県)在住作家の入選作品など約270点を展示いたします。

山本佳晴(鳥取県倉吉市)《焼締窯変壺》NHK会長賞 第70回展出品

※展覧会名・会期は変更になる場合があります。ご了承ください。

島根県立美術館 北斎展示室

当館が誇る北斎コレクション・約1,600点の中から、北斎の版画作品や肉筆画など約40点を常時ご覧いただける展示室です(約1ヶ月ごとに全点展示替)。当館はいつでも北斎の作品をご鑑賞いただける、国内外でも数少ない美術館です。



詳しくは、特設サイト「島根県立美術館の浮世絵コレクション」をご覧ください。



葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》[新庄コレクション]

2月12日[月・振休]まで
ご鑑賞いただけます。



葛飾北斎《五百ろかん寺さざみどう》[永田コレクション]

2月14日[水]から
ご鑑賞いただけます。
(3月18日[月]まで)



島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL:0852-55-4700 FAX:0852-55-4714
https://www.shimane-art-museum.jp

いつでも
北斎